

朝7時に起床し、7時半から朝食です。今朝は西洋料理が中心であり辛くなく楽しめました。午前中は寺院や王宮周辺を訪れ宿泊先近辺の市街地を散策しました。道には多くの鳥やトカゲ、水路では魚などを見かけました。日本では見られない大きなトカゲにとっても驚きました。今日は天気恵まれ、日差しが強く、歩いているだけでも汗をかきました。寺院は仏像が数多く置かれており厳粛な雰囲気でした。寺院では多くの僧侶も見かけ、一般市民の仏教信仰に対する姿勢が垣間見られました。日本では宗教の概念が薄く、無宗教の人なども多いようですが、タイでの厚い仏教信仰に日本との価値観の違いを感じました。



ミズオオトカゲ

午後は JICA タイ事務所を訪問しました。JICA では有意義な時間でありとても充実した内容でした。タイ全土で援助を行っており、タイと日本の持ちつ持たれつに関係にとっても感銘を受けました。日本では調べてもなかなか出てこない情報も知ることができ、特に自分の調べていることに対しても良い情報を得ることができました。JICA では特にバンコクのインフラ設備に力を入れています。実際に有償資金協力による地下鉄の建設や、チャオプラヤ川に橋を架ける協力をしています。昨年の50年に一度と言われた大洪水での経験を踏まえたインフラ整備は、日本の航空公団や牧草管理といったその道のプロを招いての問題の改善はとても有効な手段であるとともに、今後のバンコクの発展に欠かせないものであると思います。JICA の陰で支えつつも大きな夢を実現させるための活動にとっても感動しました。私もそういった多くの人の役に立てるようなことがしたいと思いました。

夕方からは農業省農地改革局局長のウエラチャイ博士、プロジェクトを担当している株式会社三祐コンサルティングの小田哲郎さんを訪問し、タイでの農地改革の話を行いました。小田さんはタイの東北部でため池を作ったり農民の教育を行ったりして、現地の人々がよりよい生活を送れるように援助を行っていました。さらに自給自足にさらに少しの収入を得る「足るを知る経済」を実践することを、小田さんが農民に提案しています。また、AEC(ASEAN Economic Community)への参加による農家への影響を防ぐための対策や国際競争に負けない戦略を計画し、段階ごとにランク付けして農業をよりよい方向へ発展させるための国策のプログラムがとても興味深い内容でした。AEC による関税の撤廃に際し、農家を守る一方で国際的に対等に戦える力を備えるような活動はとても緻密で現実化の可能性がかなり高いと思います。日本でも TPP などの参加によって農家が不利になるといった将来的な問題を抱えています。タイで行われているような対策は取られず農家の不安はぬぐい切れていないのが現状です。



農地改革局のミーティングルーム

そういったことから両国政府の農家に対する待遇の違いが比較できました。9月21日のこのプロジェクトサイトの訪問が楽しみです。